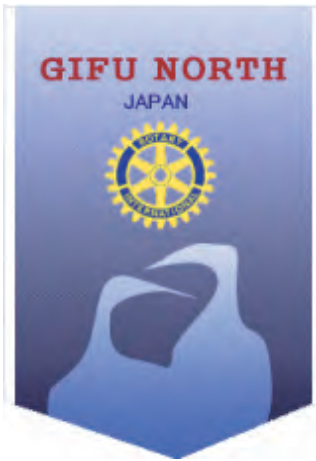


岐阜北週報



8月 会員増強及び拡大月間

<input type="checkbox"/> 題字	永瀬 章	<input type="checkbox"/> 会長	永瀬 章	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	塚原 進	2008-2009
<input type="checkbox"/> 会場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹事	岡田 忍	No.1268
		<input type="checkbox"/> 委員長	山口 八郎	08.08.06 発行

前回の記録

第 1268 回例会 7/27 (水)
クラブアッセンブリー (3)
ガバナー公式訪問 IMA 分区
合同担当：会長・幹事

本日の予定

第 1269 回例会 8/6 (水)
定時総会 (前年度決算承認)
担当：会長・前期会計

次回の予定

第 1270 回例会 8/20 (水)
クラブアッセンブリー (4)
I・A 年次大会報告合同例会
担当：インターアクト

出席状況 【会員数 37 名】

出席者：25 名 出席率：25/37=67.57%

欠席者：12 名

()

ゲスト：0 名

()

《ガバナー公式訪問会長・幹事懇談会》

13:00 ~ 14:30

《ガバナー公式訪問合同例会》

司会 篠田正男 (岐阜西 RC)

点鐘

岐阜西ロータリークラブ会長内藤哲夫

国歌「君が代」斉唱 ソングリーダー

ロータリーソング

「奉仕の理想」 山口憲一

四つのテスト唱和

小林和也幹事岐阜中 RC

ホストクラブ会長挨拶

岐阜西ロータリークラブ会長 内藤哲也

出席報告

河合喜三幹事 岐阜長良川 RC

ガバナーの紹介

水谷晃三ガバナー補佐

ガバナー卓話

由良久 ガバナー

閉会の挨拶

岐阜ロータリークラブ会長 後藤直剛

点鐘

岐阜北ロータリークラブ会長 永瀬章



《I・M》

日時 平成 20 年 7 月 27 日 (日) 10:00 ~ 14:30

場所 岐阜都ホテル

ホスト 岐阜西ロータリークラブ

司会 細川哲也 (岐阜西 RC)

点鐘 水谷晃三ガバナー補佐

開会挨拶 水谷晃三ガバナー補佐

特別参加者紹介 水谷晃三ガバナー補佐

講師紹介 水谷晃三ガバナー補佐

講演・講師菅井啓之京都ノートルダム大学教授

演題「環境=いのち」の自覚と共生について

カウンセラー講評篠田裕之パストガバナー

次期ホストクラブ発表 水谷晃三ガバナー補佐

次期ホストクラブ会長挨拶

岐阜ロータリークラブ会長後藤直剛

閉会挨拶岐阜西ロータリークラブ会長内藤哲夫

点鐘 岐阜西ロータリークラブ会長内藤哲夫

『I. M 合同例会』

ご挨拶

水谷晃三ガバナー補佐

本日は岐阜 A 分区 I M 並びに合同例会を開催いたしました処、由良ガバナーのご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

田中直前ガバナー、岩本ガバナーエレクト、桑月ガバナーノミニーには早朝より遠路からご出席頂き有難うございました。

また、パスト会長、地区委員長、各分区のガバナー補佐の皆様にも、多数ご出席頂き有難うございました。

各ロータリーの会員の皆様にも多数ご出席頂き感謝申し上げます。

今年度は例年のスケジュールを変えさせて頂き、また、開始時間も早く大変だったと思います。午前の部は I M、午後の部は合同例会と致しました。 R I 会長テーマ

「夢をかたちに」、由良ガバナーの「環境保全」の方針に沿って講師を選定させて頂きました。将来禍根を残さないために、今、私達が出来ることから始める事が大切ではないでしょうか。

最後に、今年度の I M、合同例会のホストをして頂きました岐阜西ロータリークラブの内藤会長、宮寄実行委員長をはじめ委員の皆様から心から感謝申し上げます。

「環境=いのち」

の自覚と共生について

京都ノートルダム女子大学 菅井啓之

- ①凶悪犯罪も環境問題もブレーキの問題
- ②いのちの自覚の深化
- ③自然体という生き方への回帰

公式訪問卓話

【RI 会長テーマと 強調事項について】

2008-09 年度ガバナー 由良久

ガバナーの任務

RI 会長の就任年度に強調事項と関連する奉仕活動を実施の奨励。

過去数年に継続されてきた強調事項とは

水・識字率向上・保健と餓餓救済です、

それらが継続されてきたのは、地元のロータリークラブが個々にほかのクラブと協同でプロジェクトをに最適なものであったからである。これらの分野に関する知識経験が蓄積されている、従ってロータリーが投資するのに最適な分野であり、既にあるリソースを活かす事が出来る分野である。

こう判断をされた上で、今年も過去数年継続してきた強調事項を継続しようという結論に到達されたようであります。

わが地区においては岐阜長良川ロータリークラブではクラブ創立 40 周年ロータリー 100 周年記念事業としてミャンマーに井戸を掘るのに成功され感動的な事業を实らせており、他のクラブも井戸堀・学校建築・文房具贈与医療用具・中古消防車の寄付等の事業を成功させておられます。

地区全体としては、かなりの知識経験の蓄積があります。

RI 会長は強調事項を検討されている過程で 5 歳未満の幼児が 1 日 30000 人亡くなっている驚異てき数に遭遇され、この根源を探求されて次のことを知らされました。

- 1、 医薬品・ワクチン蚊帳などの物資の不足がため肺炎・ハシカで死亡

- 2、 一袋 10 セントで購入出来る経口保水塩がないため下痢疾患で死亡
- 3、 汚水がすべて（飲料・体を洗う
- 4、 治療可能な病も不衛生な環境と栄養失調がため不治の病で死亡
- 5、 極貧の連鎖の家族に生を受けた為

即ち子供たちは保健と飢餓救済・識字率向上の分野のニーズが満たされていないがために命を失っていくことが判ったのです

我々が手を貸せば、確実に減少することは確かです。RI 会長がこれら子供たちの見果てぬ「夢をかたちに」にしてやろうではありませんかと、テーマを「夢をかたちに」とされて、強調事項をこれまでの水・識字率向上・保健と餓餓救済を引き続き維持することにされました。

次に地区活動目標については、まず皆様に会長賞をめざしていただきたいと言うことを申します。そのためには、ぜひ、子供の死亡率低下のプログラムに取り組んでもらいたい。会員増強に関しては 2009 年 3 月までに純増 1 名をぜひ実現していただきたいのです。そのうえで、会長賞の 5 要綱のそれぞれについて、その中のどれかを実施していただきたいのです。

これらは皆様の年度事業の羅針盤です、これに従って奉仕活動を実施していただければ皆さんのクラブは立派なクラブになります、どうか次年度以降も持続するプログラムにすることに心がけて頂きたいと御願ひして私の卓話を終わらせて頂きます。

(抜粋記載 会報委員 片桐 順一郎)